学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学 I	1	前期	必修	いいえ	97

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
DX = ICO	0	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

|本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の土台となる聖書理解が目的である。授業では、旧約・新約聖書の基礎を体験的に習得できるよう、聖書を声に出 して読むこと、紙芝居や絵本の読み聞かせ、ディスカッションなどを取り入れた。また、毎週のチャペルの参加や、ミッションデーのレポート、ミッションデー後の教会 訪問などを評価に取り入れ、授業外でキリスト教に触れる体験の機会を促した。

毎回の授業の最後に記入するポートフォリオにおいて、その日の学びの確認を行っている他、チャペルについても今期よりポートフォリオを作成し、積極的なチャペ ル参加と積極的にメッセージを聞く姿勢を促した。

今後は、さらに建学の精神の土台を日常的に習得していくため、予習・復習の課題を具体的に示していく工夫を行う予定である。

4. 学生の目標達成状況について

	は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれかい。観点別の達成状況は,該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価	証の根拠を簡単にお示し下さい。	授業評価アンケートの結果	より、知識理解に関しては4	.0ポイントであった。事象をヨ	里解する視点や考え方取得	は3.8ポイント、他の到達度目	自己評価も概ね平均3.5以
		上であった。トータルの成彩どから、「感恩奉仕」の価値					-リオや教会訪問の感想な

の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

|キリスト教学 I はキリスト教の導入なので、今後、キリスト教学 II の中で、 I で学んだ知識をもとに、発展させていくような展開が必要とされる。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 [①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

していることは必須に思われる。

本科目は本学の要となるキリスト教を学ぶ「必修」科目である。しかし、初めから興味を持って受講する学生はわずかであるため、キリスト教に全く興味のない学生 も受講しているため,動機付けに工夫が必要であるが、総合的に全体として一定の成績を収めていることから,内容的には妥当であると考える。 ②DP. 行動目標からみての内容的妥当性

感恩奉仕の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、行動目標に沿い、学問としての聖書の講義とアクティブラーニングの学びの他、 チャペル出席、教会出席、等を評価に組み入れ、授業内で学ぶ事の出来ないキリスト教の源泉に触れるなど、内容的には妥当であったと考える。 自由記述の中には、「チャペルで様々な奨励者の話が聞けたことがためになった」との複数回答があり、キリスト教学とチャペルが本学のキリスト教教育としてリンク

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の土台を学ぶ科目であるため、学期始めにキリスト教に関心や興味のない学生たちにも主体的に学習しもらうための工夫が必要である。受け身的に知識を得るだけではなく、学生が興味を抱いたテーマについて取り上げてディスカッションを行うことや、絵本・紙芝居の読み聞かせを学生自らが実践することなどを入れ、授業を造り上げる一員としての自覚を養うように促している。授業の最後に記入して振り返りを行うポートフォリオに加え、今期よりチャペル出席を促す「チャペルポートフォリオ」を導入した。これは、5週ごとに回収してチェックを行い、学生のチャペルへの積極的姿勢を伺う材料とした。これによって、前期のチャペルでの学びの全体像が見えるようになった。今後も、さらなるアクティブラーニングを検討し、キリスト教学の学びを多角的に深められるような指導をしていきたいと考えている。

学科	保育科
氏名	植村 和彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどものうたと伴奏法 I	2	前期	選択	いいえ	86

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
nX∃ICU	×	×	×	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること,重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

1年次前期の「こどものためのピアノⅠ」および1年次後期の「こどものためのピアノⅡ」の単位修得状況が様々であることに加え、開講時点で学生が習得している ピアノ演奏技能にも大きな個人差があることに留意し、1年次の学習状況を踏まえつつ、各自の進度や演奏技術の習得状況に合わせた個別指導を行うことの出来 る体制を採用している。2年間4期に渡って演奏技能を習得していく段階においてより実践力を身につけていくことを目的としていることを十分に伝達すると同時に、1 年次と同様に週に一度の授業時間内だけでなく翌週の授業までの間に、各自で継続的に反復練習を積み重ねることが必要不可欠であるため、毎回の個別指導終 了時に次回の授業までに取り組むべき課題点や履修曲目の目安等について出来るだけ明確に指示するよう心がけている。また、特に開講時点でピアノ実技科目に 関する資格取得要件単位を満たしていない学生や、大きな課題に直面したり進度が遅れたりしている学生が精神的に追い詰められることのないよう、意思の疎通を はかりつつ、少しでも前向きに取り組むことの出来るように助言している。

資格取得要件として、ピアノ実技関連科目の全4単位中2単位以上の修得が求められていることを踏まえて、本科目において1単位を修得出来るよう最大限努力 すること、またどうしても課題曲の履修が間に合わず当科目の単位修得が出来ない場合でも、2年次後期の「こどものうたと伴奏法Ⅱ」において必ず単位を修得し、 資格取得要件を満たすことの出来るよう、自らの計画性と展望を持って受講するよう指導している。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された				やや達成された	

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

到達度自己評価を見ると、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値は3.6点であった。また、課題曲の履修状況と 期末の実技試験の評価を総合的に振り返ってみると、本科目の単位を修得した学生に関しては概ね標準的レベルに到達したことが窺えたことからも、技能表現に関 わる目標については、やや達成されたと言えるのではないか。

その一方で、当科目の特性上、予め提示した課題曲の履修が間に合わなかった学生は単位を修得出来ず、次期の「こどものうたと伴奏法Ⅱ」において残された課 題を補填することとしている。今後、この学生たちが「こどものうたと伴奏法I」において、余裕をもって設定された課題曲の履修を修了することが出来るよう留意しつ つ、さらに手厚く指導していく必要がある。個別指導形式で学ぶ演習科目ではあるが、同時にクラス全体の状況にも十分配慮しつつ授業を進める必要があると考え

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 (イ)CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は在学中の2年間4期に渡って継続的・段階的に進行していく実技系演習科目の中核的な位置にあり、資格取得を目指す上でも出来る限り単位修得して おくことを求めているものである。1年次の履修状況は勿論のこと、「保育所実習」や「教育実習」において各自が実習先から提示される多様な課題曲、また就職試験 受験時に求められる演奏実技課題への対策など、学生一人ひとりのニーズに応じた柔軟な対応が出来る体制を整えつつ、受講者全員が個人差はあってもそれぞ れ基礎技能や保育現場での応用力を高めていくことが出来ている現状から、内容的には妥当であると考える。

②DP、行動目標からみての内容的妥当性

学生の技能面では大きな個人差があるが、全6名(専任1名、非常勤5名)の教員体制のもと、受講者一人ひとりの進度やニーズに個別に対応しつつ、教育を行っ ている。既に資格取得要件の2単位を修得済みの受講者に対する課題曲(応用編)の設定に関しても、4期を見据えた科目であるという特性と、実際の保育現場で 求められる演奏技能の必要性を踏まえれば妥当であると考える。 ③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡 単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業時間以外での自主的な予習・復習に関して言えば、実技系の演習科目であるという特性上、ほとんどの学生が多くの時間を充てて取り組んでいるということが、「学習量の評価」の集計結果や、「空きコマで練習した」、「家でも練習した」、「ピアノのレッスンに行った」といった記述内容からも明らかである。しかし中には、「ピアノ難しすぎる」という記述も見られた。保育科の過密な1週間のカリキュラムの中でも効率的な予習・復習を積み重ねていけるように指導・助言していくことが大切であると感じる。

授業の進め方においては、当該学年の1年次では採用していなかったローテーション制によるレッスン(受講者全員が前期中に専任教員のレッスンを受講する形式)を導入し、クラス全体の状況把握に努めた。何のためにピアノ演奏技能を高めていく必要があるのか、学生自身が目標を見失ってしまうことのないように、今後控えている各種実習や就職試験に臨む際や、就職後の保育現場での実践を日々意識・想定しながら継続的に学びを深め、技能を高めていけるように、一方的な実技指導に陥ることなく、1年次以上に対話を重ねながら進めていくことが重要であると考える。また、複数の教員で担当する科目であるため、グループ間で進行や指導方針等に過大な格差が生じないように十分配慮し、担当教員間で連携を図りながら進めていくことが求められる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。 ピアノ実技科目の中心にあたる本科目の位置づけからみて、個人差はありながらも基礎技能の習得および演奏技能の向上という点においては概ね達成出来たが、上述の授業の進め方や教材設定の在り方においては、引き続き改善の余地があると思われる。また、担当教員の変更を求める記述も見られ、少人数制による実技指導を主とする本科目にとって、これも毎年の課題となっていることは事実である。これらの意見を真摯に受け止め、学生がより意欲的かつ主体的に学ぶことの

できる授業環境を整えていくことを目的として、さらなる改善策を模索したい。

情報利用の面から見ても、シラバスの活用に関する「この授業を履修する際にシラバスの記載を参考にした」の設問に対して、69名(受講登録者中81.2%)が「参考にしなかった」と回答しているが、たとえ進度に大きな個人差がある本科目であっても、達成目標や授業計画の確認作業において受講者全員に大いに活用を促すとともに、引き続き担当教員からの説明と助言を十分に行っていきたいと考える。

学科	保育科
氏名	植村 和彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどものためのピアノI	1	前期	選択	いいえ	97

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
談当にし	×	×	×	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること,重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し,授業計画にどう活かしたかを,「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

入学時点での学生個人のピアノ演奏技能・経験値に大きな個人差があることを念頭に置いた上で、事前に実施する「ピアノ等の演奏経験に関するアンケート」の記 述内容や「春休みの事前対策レッスン(希望制)」の受講状況等も踏まえて、各自の進度や演奏技術の習得状況に合わせた個別指導を行うことの出来る体制を採用 している。2年間4期に渡って段階的に演奏技能を習得していくための基礎作りを目的としていることを十分に伝達すると同時に、週に一度の授業時間内だけでなく 翌週の授業までの間に、各自で継続的に反復練習を積み重ねることが必要不可欠であるため、毎回の個別指導終了時に次回の授業までに取り組むべき課題点や 履修曲目の目安等について出来るだけ明確に指示するよう心がけている。また、特に入学以前のピアノ受講経験がなく、大きな課題に直面したり進度が遅れたりし ている学生が精神的に追い詰められることのないよう、意思の疎通をはかりつつ、少しでも前向きに取り組むことの出来るように助言している。

資格取得に関して「こどものためのピアノⅠ」、「こどものためのピアノⅡ」、「こどものうたと伴奏法Ⅰ」、「こどものうたと伴奏法Ⅱ」の全4単位中2単位以上の修得が 求められていることを踏まえて、まずは本科目において1単位を修得出来るよう最大限努力すること、またどうしても課題曲の履修が間に合わず当科目の単位修得 が出来ない場合でも、次期の「こどものためのピアノⅡ」において必ず単位を修得出来るよう、自らの計画性と展望を持って受講するよう指導している。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された				やや達成された	

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

到達度自己評価を見ると、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.2点であった。また、課題曲の履修状況と 期末の実技試験の評価を総合的に振り返ってみると、本科目の単位を修得した学生に関しては概ね標準的レベルに到達したことが窺えたことからも、技能表現に関 わる目標については、やや達成されたと言えるのではないか。

その一方で、当科目の特性上、予め提示した課題曲の履修が間に合わなかった学生は単位を修得出来ず、次期の「こどものためのピアノⅡ」において残された課 題を補填することとしている。今後、この学生たちにおいても「こどものためのピアノI」において、出来るだけ早期に当科目の標準的レベルを満たすことの出来るよ う留意しつつ、さらに手厚く指導していく必要がある。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 (イ)CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は在学中の2年間4期に渡って継続的・段階的に進行していく実技系演習科目の導入的な位置にあり、資格取得を目指す上でも出来る限り単位修得して おくことを求めているものである。必要に応じて楽譜の読み方に関する基礎的な学習も採り入れつつ、ピアノ実技受講経験のない初心者でも無理なく基礎から学習 を開始出来るように使用教材にも配慮しており、受講者全員が個人差はあってもそれぞれ基礎技能を習得している現状から、内容的には妥当であると考える。 ②DP、行動目標からみての内容的妥当性

学生の技能面では大きな個人差があるが、全6名(専任1名、非常勤5名)の教員体制のもと、受講者一人ひとりの進度に個別に対応しつつも、本科目ではあくま でも演奏技能の基本を習得することを目標としていることを念頭に置き、教育を行っている。また、初心者の学生にとっては一見ハードルの高いように思える課題曲 の設定に関しても、4期を見据えた科目であるという特性を踏まえれば概ね妥当であると考える。 ③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡 単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しくださ

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生個人の現状をよく見極めつつ指導に当たる意識を教員間でも共有することが求められる。また、授業時間以外での自主的な予習・復習に関して言えば、実技系の演習科目であるという特性上、ほとんどの学生が多くの時間を充てて取り組んでいるということが、「学習量の評価」の集計結果からも、また「一生懸命に練習した」、「毎日練習した」、「放課後ピアノ室で自主練習した」といった自由記述からも明らかである。継続的な練習が欠かせない実技科目であることため、保育科の過密な1週間のカリキュラムの中でも効率的な予習・復習を積み重ねていけるように指導・助言していくことが大切であると感じる。

授業の進め方においては、何のためにピアノ演奏技能を身につけようとしているのか、学生自身が目標を見失ってしまうことのないように、今後控えている各種実習に臨む際や、就職後の保育現場での実践を日々意識・想定しながら継続的に学びを深め、技能を高めていけるように、一方的な実技指導に陥ることなく、対話を重ねながら進めていくことが重要であると考える。また、複数の教員で担当する科目であるため、グループ間で進行や指導方針等に過大な格差が生じないように十分配慮し、担当教員間で連携を図りながら進めていくことが求められる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。 ピアノ実技科目の導入にあたる本科目の位置づけからみて、個人差はありながらも基礎技能の習得については概ね達成出来たが、上述の授業の進め方や教材 設定の在り方においては、引き続き改善の余地があると思われる。受講者の希望・意見も真摯に受け止め、学生がより意欲的かつ主体的に学ぶことのできる授業 環境を整えていくことを目的として、さらなる改善策を模索したい。

情報利用の面から見ても、シラバスの活用に関する「この授業を履修する際にシラバスの記載を参考にした」の設問に対して、65名(受講登録者中68.4%)が「参考にしなかった」と回答しているが、たとえ進度に大きな個人差がありシラバスに記載された各回の授業内容の目安通りに全員が進行することが不可能な本科目であっても、達成目標や授業計画の確認作業において受講者全員に大いに活用を促すとともに、引き続き担当教員からの説明と助言を十分に行っていきたいと考える。

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの運動あそび	1	前期	選択	いいえ	97

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
該当にし	×	×	×	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

|本科目は資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生(前期)であり、子どもの 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」「運動あそびやその果たしている役割などは理解していない。今後資格を取得するために、子どもの発達や運動あそびの果たしている役割を理解することは大切であ り、安全管理等の知識を得るためには重要な科目であると認識している。授業を進めるにあたっては、学生が子どもの運動あそびを実際に行いながら子どもの発達 や運動あそびの発展等を理解できるように、ディスカッションや過去の経験を振り返ることができるような内容を取り入れた。また、今後の実習に生かせるように、授 業後に内容をノートにまとめるように指導を行った。運動あそびではあるが、子どもの発達や運動あそびの理解が深まるように資料配布を行った。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な成績の平均は90.2	2点(S-61人、A-26人、B-4	人、C-4人、放-2人)である。	。ほとんどの学生がSまたは	Aを取得していることから、	目標は達成されたと考えて
* 根拠として 成績(トータルの成績 行動日標あるいはDP別)の平均値や分	いる。Sを取得した学生は、			ができるようになっていたが、		

布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

|かったため、授業外等で引き続き個別の指導を行っていく必要があると思われる。授業評価アンケート「学習量の評価」では、苦手なことをできるように練習したとい |う意見や、運動あそびの種類や内容をノートにまとめるという意見が見られた。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 |本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置づけられており、幼稚園教諭免許(選択必修)、保育士資格(選択必修)の科目である。受講学生は資格取 得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授 業評価アンケートでは、とても役に立ったという意見が見られた。

6. 授業の進め方とその向上について 授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 と《授業評価の指標》「授業の質の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」「学生の意見など 本書ので発素を行った。とれにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りが見られるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。授業評価アンケートでは、運動あそびの種類を調ベノートのまとめたという意見が見られた。 ・ 総括的評価と来年度に向けての課題 達成状況の総括的評価と課題をお示しください。 学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。この授業では学生のみで運動あそびを行うため、実際の子どもの姿と重なることが少ない。今後の実習等で経験や知識が生かされるように、他の授業と繋げて考えられるような授業展開をできるように検討してい、。

7. 松竹的計画C木牛及に向けての味趣	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。この授業では学生のみで運動あそびを行うため、実際の子どもの姿と重なることが少ない。今後の実習等で経験や知識が生かされるように、他の授業と繋げて考えられるような授業展開をできるように検討していく。

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの発達理解とあそび	2	前期	選択	いいえ	91

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
該当にし	×	0	0	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

本科目は資格取得に必要な科目であることを学生も理解しているため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生はほぼ全員受講している。受講学 生は、1年次の授業及び実習での経験を通して、子どもの発達理解や個別の特性を理解しつつある段階であるが、2年次の実習では実際に子どもに"あそび"を実践 するため、授業での体験は保育者としての視点を持ちつつ臨まなければならない。

オムニバス科目のため、現場の幼稚園教諭が実際に学生に遊びを提供し、今年度からは保育者として留意すること、子どもの楽しみ方等を毎回授業の最後に振 り返ることにより、指導計画の立案に活かせるように配慮した。その結果、学生の積極性も高めることができたと考えられる。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	どちらともいえない		やや達成されなかった	やや達成された	やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な証価け74.8占(是	· 宣占07占	-8 Å B-16 Å C-31 Å D-3	04 L F-11 L)である 木利	日け 9クラスに分かれて行	っていろが 冬クラスの得

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

点の平均差は0.8点であった。しかしながら、昨年度と比較すると平均点が15点下がっていることが課題である。原因として、今年度より講義において従来学生の理 解が弱かった乳児に焦点を当て授業をすすめ、この分野を中心に試験を行ったことにより試験得点のマイナスが影響したと考えられる。

受講にあたっては、図書館などを利用し授業に活かすなど、積極的に取り組んでいる学生も見られ、意欲的に授業に取り組もうとしている様子がうかがえる。今後 は利用を積極的に進めるなど授業の中でも促していきたい。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、幼稚園教諭免許状(必修)、保育士資格(選択)の科目である。受講生は ハずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。

また、DPに関しても、子ども理解、保育者としての対応など指導案の作成を重ねる毎に深められており、紹介した遊びを基に他の遊びに興味を持ち調べたり、体験 した遊びを対象の年齢に合わせて変化させたり、紹介された教材を作成するなど意欲も高くなっていた。 以上のことより、内容的妥当性には問題はないと考えられる。

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。	本科目は、本学独自の科目として「保育の対象理解」に該当している。授業の質的評価得点の平均は昨年度と同様3.9点であった。。 計画に際しては授業で体験した内容を実習で実践しており、特に6月の実習後は体験を振り返り、実際の子どもの様子を意識しながら立案されていることがうかが える。しかしながら、計画作成に苦手意識を持つ学生も数名いることから、このような学生には、より積極的に働きかけを行っていきたいと思う。
<授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	

SE DING - 60 CONTROL STORY 6 1 1. (18)	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。 担当科目教員同士で授業時の様子などの意見交換を行いながら、計画を進めることによって、学生の現状を把握しながら授業を展開できたのではないかと思う。 次年度は乳児に関する理解を高めることができるように、教授法を改善していきたい。また、指導案の作成に苦手意識のある学生を見極め、働きかけを工夫してし けるようにしたい。

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの保健Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	90

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
DX = ICO	0	0	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

本科目は、保育士資格必修科目であり、学生自身も受講動機が「必修科目である」もしくは、「資格取得に必要である」と回答しており科目の位置づけの認識は受講 生と一致しています。そのため、授業に臨む姿勢も真剣で、学期末の定期試験においてもしっかりと学習した成果が表れていると実感しています。受講生の準備成 に関しては、「シラバスの活用」「授業計画を立てる」の回答が1年時の「こどもの保健 I 」よりも参考にしている割合が増加し、学習への意欲が感じられます。ただ、 本科目は、私自身も「予習(準備)」よりも「復習」に重きを置いています。その観点から見ると、受講生のアンケート結果は、思いのほか、準備にも力を注いでいた、と 感じています。次年度も、自然と準備が整えるように学習への意欲や興味、楽しみが持てるようにしていきたいと思っています。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

達成度自己評価「知識を確認、修正したり、新たにえることができた」の回答が、「わりとそうだと思う」もしくは「かなりそうだと思う」に集中しており、必要な知識は得ら れて感触があるのではないかとアンケートから読み取れます。本科目の「秀」は26名(31%)、「優」は25名(29%)、「良」は19名(22%)、「可」は10名(12%)であり、 再試験5名は全員再試験では60点を確保し、「可」となった。成績評価は、シラバスに記載している方法をより具体的に第1回目の授業時に活字にして全員に配布し ています。その基準に従って評価をした結果であり、全体的に「秀」に集中している現象は、欠席も少なく、ノートをまとめる、という復習をしっかりとしている結果であ ると思っています。また、想像以上に「図書館の図書や雑誌を利用した」人数が41名と多く、実際にノートを見てみると、多くの学生が授業で取り扱った内容以上の記 述がされていたり、資料がコピーして貼られていたり、自己学習の跡が見られました。授業で関心を広く持ち、更に関連する内容を調べていたことが、成績評価にも つながっていると考えています。ただし、以前再試験者が存在すること、「可」も2桁の割合でいることは、教授方法に問題があると反省しています。次年度は、より分 かりやすい説明ができるようにしていけるように努めます。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

| DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当|妥当だと思っています。受講生の「受講動機」や「到達度自己評価」からも本科目は、知識の獲得に重点をおいた科目であることは明白であり、それに関連する「DP」 の提示であると思います。また、本科目は「こどもの保健 I」に引き続き開講される科目であって、内容、難易度、関連性、等「CP」「カリキュラムマップ」に何ら逸脱し ていないと考えています。

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡 単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しくださ い。	本科目は大半が講義形式で授業を展開しており、スライドを用いての説明が主です。授業を進める中で、なかなか学生が質問しやすい環境づくりができていないのではないか、と不安を覚えていましたが、アンケートでは「少しそうではないと思う」が「名だけであり、概ね、その機会が与えられていると感じてくれていることは、嬉しく思いました。今後も、受講生が大いに疑問を持ち、そこから関心が広がるように努めていきたいと思っています。また、授業時間内ではなかなか時間をとることが難しいため、今までも放課後等を利用して、共に勉強する時間を設けていましたが、今後も、できる限り、受講生が充分に学習できるように学生達と話し合いながら環
<授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	にいたが、マまでも放床後等を利用して、共に勉強する時間を設けていましたが、マ後も、できる成り、支護生が元ガに子自できるように子生達と話しらいなから環境を整えていきます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	今年度は、到達度自己評価が例年に比べ平均値が低いように感じましたが、実際のノートの内容や定期試験の点数を見る限り、受講生に獲得して欲しい知識は身についているのではないかと思っています。特に今年度は、図書やインターネントでの調べ学習が盛んにおこなわれており、その成果がノート作りに反映されていました。一方、再試験者が出てしまうことは、私自身の教授方法に問題があると思っています。まずは、シラバスをしっかりと毎回読んで、「ただ授業に来た」という状況にならないように工夫をしていこうと考えています。受講する段階で関心をある程度持てると聴く姿勢も変化すると思います、そのためにも次回講義の内容を具体的に「予告」するなどを盛り込んでいこうと考えています。

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども音楽療育演習	2	前期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
改当に	0	×	×	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など

①前年度後期の「こども音楽療育概論」の流れからの科目であるため、受講学生の目的意識がはっきりしているので学習準備は整っていた。後期の「こども音楽療 育実習」とあわせて資格認定となるため、実習を視野に入れて具体的な楽曲に数多く触れて、その曲を用いる意義、こどもへのはたらきかけの工夫を学べるように 授業計画を実施した。

②こどもたちとの出会いの準備から、見诵しを持った計画の立て方、各セッションの進め方、楽曲を用いる際の楽器操作などの具体的 な音楽テクニックの体得、こどもの変容と振り返りを毎回学生各々が学ぶべき課題を明確にして臨むことを目指した。

③『静かな森の大きな木』というノードフ=ロビンズの考え方に基づいた楽曲集から学生各々が自らの課題に適した楽曲 を選択し、セッションとして構築する課程を発表することで問題点を共有しながら学びの場を充実させた。

④学生の自由記述の中で、「自分の選んだ曲が発表できなかった(楽曲が重なったので余儀なく変更を促し

|た)」際の説明の不十分さから、課題への理解を十分に得たとは言い難く今後の反省点である。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

(1)学習到達度自己評価は平均値3. 6で「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」がゼロだったので概ね達成できたと考える。

②7%だが、「テスト・レポート・提出物などの評価基準が明らかであった」の項目で「少しそうでないと思う」と不満を持った学生がいたことは、提出物の返却の際、 説明が十分でなかった点があったと考える。深い関心を持ち丁寧に考察しながら、実際のセッションに臨む際の具体的な準備が不十分であることに気付く意識を、さ らに啓発する必要を感じた。

③専用のノートを作らず、授業の記録を配布物にしていた学生が7割いたことは次年度の課題である。後期の「こども音楽療育実 習」につながるので継続したノートの必要性を初めに説明したが、回を重ねるごとに徹底していかなくなったので、授業の半ばでも申し伝える必要を感じた。

④簡易的にスマホの利用で検索をかける姿はたびたび目にしたが、図書館を利用して課題の 前後のしっかりした裏づけを考察した学生が1割にも満たなかったので啓発を続けたい。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

| DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 |①自由記述の中で「発表回数にばらつきがあった」ということがひとつあがっていて、学生の中ではもっと発表したかったのに十分できなかったと感じて不満が残った ことが推測できる。時間配分に無理はなかったかを顧みて、授業以外でも質問できるオフィスアワーの周知など今後徹底していこうと反省した。

②この分野は、特に今後も多くの学びを自身で獲得していってほしいので、到達度自己評価の「学びを深めたいと意欲を持つことができた」学生が「わりに そう思う「かなりそう思う」を合わせて55%にとどまったので、この数字を反省点に今後の学生への啓発にさらに力を入れたいと考えた。

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 〈授業評価の指標〉 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	で、この部分の補強を考える必要性を感じた。楽曲の練習という技術的な課題を同時に知識の定着を図る必要がある。 ②ノードフ=ロビンズの共同の仕事から生まれてきた楽曲もさることながら、障がいのある子どもへのはたらきかけはグリーグの小品の標題音楽、サンサーンスのイメージをわかせやすい楽曲、ディズニーの曲などまだまだたくさんの曲があることを本時間内に十分に伝えられなかったので、学生の中には違和感を持った者がいるかもしれない。情報利用の中で、具体的なこうした曲の紹介も積極的に行い、図書館を利用して様々な楽曲にふれ合うことを推奨していきたい。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	音や音楽を聴く活動、身体活動、楽器を使った活動、歌・発声の活動、これらの「療育的音楽活動」の具体的方法を学び、障がいのあるこどもとの豊かな音楽体験を 積み重ねる手立てを見つける学習に取り組んだ。「身体の動きに合わせる」「楽器を使って合わせる」「声に合わせる」という教師の音楽的なテクニックの基礎を実際 に学び、音楽を使ってのこどもの変容というものを学生どうしでもよく話し合う授業展開が行われた。数字には表れなかったが、授業の枠を出て、他の保育科の授業 で、あるいは地域での学生のサークル活動などでも本授業で研究した楽曲や音楽展開が学生の意志によって使われ、楽しい音楽体験が広まってくれたことは、予想 外の成果だったと考える。

学科	保育科
氏名	領木 信雄

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
コンピュータ・サイエンス I	1	前期	選択	いいえ	97

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
DX = ICO	×	×	×	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標>

1年生前期の科目であり、保育科での数少ない情報系科目のひとつである、操作の説明をする際に、園便りや名簿など保育の現場で作成するものを題材として扱っ 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」た、操作に不慣れな学生が多いので、作成したものを毎回提出させ、正しくできているか確認して返却した、毎回シートを配布して質問やコメントを回収し、授業が一 方的にならないようにした.

4. 学生の目標達成状況について

「学修準備性」、自由記述の意見など

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

最終的な成績の平均値は90点、再試験となったのは2名であった。

Word と PowerPoint を用いた書類作成について,身についているかどうかを確認する実技試験を行ったが,多くの学生がほぼ間違えずに出来ており,平均点は高 めの値となった. 達成状況は良好であると言える.

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 1. CP・カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」,自由記述の意見など

本科目は一般教育科目の選択科目である.身につけるべき「短期大学士としての教養」を扱う科目として.カリキュラムツリーにおいて「基礎」の段階を担当する科目 として、また、幼稚園教諭二種免許を取得するために必要な科目として、内容的に妥当であると考える。

2. DP・行動目標からみての内容的妥当性

DP5「技能・表現」の「保育に必要な基礎技能を身に付けている」について内容的に妥当であると考える.

3. まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる.

単にお示しください。	授業の質評価において「授業中に自分の意見をまとめる,話し合う,発表するなど,学生が参加する機会が設けられていた」について「少しそうでないと思う」以下を 選択した学生が21名いた.身につけるべき技能が多いので授業内でこれに応えるのは難しいと思われる. また,復習を行っていない学生も多いので,具体的に復習事項を指示する必要がある.
<授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン ターネット利用」学生の意見など	

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

/. 総括的評価と米年度に向げての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	課題の提出状況もよく、試験の平均点も高く、達成状況は概ね良好であると言える。 パソコンの操作は得意な学生と苦手な学生とで差が出やすいので、追加の課題 を多く用意するなどてして調整していきたい。
	「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」について「少しそうでないと思う」以下を選択した学生が10名もいた。演習中には巡回し個別に質問を受け付け、毎回シートを配布して質問やコメントを受け付けているにも関わらず、機会が作られていないと思うのは何故なのか、理解できない。
	きない。 Table 1

学科	保育科
氏名	領木 信雄

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
コンピュータ・サイエンス Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
nA∃ICU	×	×	×	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること,重点をおいたことをご記入ください。 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標>

|保育の現場での使用されそうな例を多く紹介した. 操作に不慣れな学生が多いので, 授業中に作業時間を長く確保し, 作業しながら遭遇する疑問点をその場でひと 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」一つずつ解決できるようにした。 毎回シートを配布して質問やコメントを回収し、授業が一方的にならないようにした.

4. 学生の目標達成状況について

「学修準備性」、自由記述の意見など

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

最終的な成績の平均値は89点,再試験となったのは1名であった,実技の試験と課題で評価を行った,

学生による到達度自己評価においては全ての項目で学生が「まあまあそうだと思う」以上を選択しており達成状況は良好であると言える.

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 1. CP・カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は一般教育科目の選択科目である.身につけるべき「短期大学士としての教養」を扱う科目として.カリキュラムツリーにおいて「基礎」の段階を担当する科目 として、また、幼稚園教諭二種免許を取得するために必要な科目として、内容的に妥当であると考える.

2. DP・行動目標からみての内容的妥当性

DP5「技能・表現」の「保育に必要な基礎技能を身に付けている」について内容的に妥当であると考える.

3. まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる.

6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 〈授業評価の指標〉 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては全ての項目で「まあまあそうだと思う」以上であった。 復習をしていない学生が多いので,復習内容を具体的に指示する必要がある。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	課題は全員が提出し、多くの学生が問題なく仕上げていた。 自由度の高い課題については、制作したものに関して発表の機会を設けていくようにしたい。

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
スポーツ・健康科学概論	1	前期	必修	はい	97

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
DX = ICO	0	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

本科目は卒業必修科目であるとともに資格取得に必要なため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生 (前期)であり、今後資格を取得するために、子どもの健康等を守るためにまずは自己の健康・体力について理解することは大切である。また、大学に入学し生活環 境の変化等があり、学生自身の生活習慣の見直しや健康管理の重要性を理解してもらうために、学生の興味のあるダイエットや美容に関連する内容を取り入れた。 教室での講義だったが、スポーツ科学実技での体力測定結果や、実際に運動を行うことで運動強度を測定・評価したりして理解が深まるように工夫した。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)ト記の評価の担拠を簡単にもテレスさい	具数的なはほの乗りは フ	2 占(5~25 】 4~20 】 ロー22	しし へつてし D2L)でもて	- 約半粉の営用がCまたは	A 右 取 但 し ア レ ス ニ し か こ し F	1 挿けみみ法式できたし来

2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

最終的な成績の平均は77.2点(S-25人、A-20人、B-22人、C-27人、D-3人)である。約半数の学生がSまたはAを取得していることから、目標はやや達成できたと考 えている。しかしながら、小テストの得点を見てみると60点を下回る学生もいたことから、説明等を丁寧に行い通年で行われているスポーツ科学実技でも健康等につ ハて引き続き指導していく必要があると思われる。授業評価アンケート「学習量の評価」では授業中にノートを取ったりして理解できたという意見が聞かれた。また、 「授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習」では、ダイエットについて学んだことを生活に取り入れたという意見も聞かれた。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

| DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当|本科目は「一般教育科目」における「自然科学系」に位置づけられており、卒業必修科目である。また、幼稚園教諭免許(選択必修)、保育士資格(選択必修)の科目 でもある。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題はほぼ達成されており、内容的 には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、分かり易い説明でたくさん学ぶことがあり、受講してよかったという意見や、これから生きていく中でとても ためになるものだった。学んだことを実践して生かしていけるようにしたいですという意見も聞かれた。「担当教員への意見」では、非常に分かり易く楽しいものだっ た、疑問に思っていたことが解決できてよかったという意見が見られた。

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 〈授業評価の指標〉 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で講義を行った。また、理解が深まるように座学だけではなく、実際に運動をしながら測定・評価を行えるようにした。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りがみられたため、すべての学生が発言しやすい環境づくりを検討していきたい。「担当教員への意見」で、教室が広すぎて一番後ろの席だと黒板の字が見えないとの意見があったので、座席の移動や見やすい板書を心掛けていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的はやや達成されたと考えられる。この講義は教室で行うため、実際の運動や生活習慣に繋げていけるようにスポーツ科学実技等の科目でも指導を行う必要があると思われる。また、授業だけではなく、普段の生活や卒業後も学生が得た知識を生かすことができるような授業展開を心掛けていきたい。

学科	保育科
氏名	金銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハングル I	1	前期	選択	いいえ	85

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
該当にし	×	×	×	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など 本講義は韓国語学習歴がない学生を対象に韓国語の基礎を身につける事を目標としている。ハングルの読み方とその正確な発音、文構造の理解、数字の使い方 などの基礎を身につけ上級クラスへ進められる知識と身につけられるよう授業を進めてきた。

学期始めに実施したアンケートで「k-popが好きだから」「学びたかったから」などの積極的な受講動機もあったが、「友達が取ったから」「英語が苦手だから」「簡単そ |うだから」などの動機もあり、学習に対する姿勢に差がある事が事前に分かったため、興味を持ち続けるよう韓国の小話やk-popを授業に取り入れた授業にした。 また中間試験や小テストの実施で学生の理解を確認しながら授業を進めた。また復習項目と次回講義の予告をする事で自習を促した。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

成績平均は76だった。

授業評価においも「知識を新たに得ることができた」で高い満足度が見られ、講義が重点を置いている点と学生の満足とが一致する結果が得られた。

保育学科は専門科目での学習量が多いため、外国語の「ハングル」は出来るだけ授業時間内に完結するような講義構成をした。簡単な復習をするように毎時間の 終わりに提示し、不定期の小テストと中間テストの実施で学生の理解を確認した。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 CP. カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

試験の結果で見られるように第二外国語として目標とした成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。

授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価でも高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。 まとめ

以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について	
単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。	初級という授業の特徴上、学生間やり取りができないが、韓国語の発表の時間や会話の機会などコミュニケーションを図れるように努めた。 また毎年の事ではあるが、A・Bクラス、C・Dクラスとクラス分けをしても多い人数で授業運営に苦労を強いられた。しかし昨年の教訓から教室を指定する事で効率よ 〈授業を進める事ができた。これからも続けたい。
〈授業評価の指標〉 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	第二外国語として学習歴のない学生を対象に、基本となる話す・聞く・書く・読む力をつけることが目標だった。その目標を達成できたことにより次の「ハングル II 」に進むに不足しない実力がついたと思われる。来年度も引き続き良い成果を挙げられるようがんばりたい。

ſ	学科	保育科
	氏名	L. Dennis Woolbright
-	1 其太情報	

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語 I	1	前期	選択	いいえ	90

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
該当にU	×	×	×	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること, 重点をおいたことをご記人ください。	,
開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動	機
なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合に	ょ
これをどう具体化したかを併せてご記入ください。	
<授業評価の指標>	
「学修準備性」、自由記述の意見など	

This Oral English course,used the textbook "Four Corners: Book 1", and the focus was on building students skills in English. Each unit of the textbook covered a different topic, and it took 2-3 weeks to complete the units We spent more time on speaking activities to improve fluency. We worked on vocabulary building, and how to use that vocabu

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された				達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	For the final assessment, a	grades ranged from52% to 9	7% They also did well on the	e chapter tests which were	part of their grades.	
* 根拠として, 成績(トータルの成績, 行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。	Students in Oral English showed a strong attitude towards learning and felt both DP3 and DP4 were achieved. There were very few problems with absences, participation in class was always strong, and homework was mostly done. For DP1 and DP5, this semester we focused a lot on building their basic skills, particularly
<授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」,自由記述の意見など	in vocabulary, many students did make significant gains.

6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 〈授業評価の指標〉 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	Some new goals are: 1. More oral practice through games and activities. 2. The use of music as a warm up activity.
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	We need to focus more on performance based task so we can actually assess the students fluency levels.

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数	
音楽の基礎	1	前期	選択	いいえ	97	

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
該当にし	0	×	×	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

①必修科目であり資格習得に必要という理由で保育科全員が受講している科目であるゆえに、科目としての内容への関心がある生徒がわずか3. 4%である点を鑑 みて、この科目の重要性を早期に自覚してもらい、自ら曲を選択し楽譜を読み取り、練習し、保育の現場で有効な音楽活動を展開する基礎的力をつけてほしいと考

②そのために単なる楽典用語の理解、五線譜上の音符の読み取りにとどまらず、鍵盤楽器、リズム楽器と結びつけた音楽の基礎的知識を獲得できる授業展開を心 がけ、授業終了後にもできるだけ鍵盤楽器で学習した楽曲を練習する課題を課した。

③レポートの添削をとおして正しい記譜の仕方、移調の原理を学んでもら、こどもの音域に合った歌唱につなげる工夫をした。

④「コールユーブンゲン」の10度音程までの課題を勉強する中で、安定したリズムの取り方、音階的信仰の楽曲から、3度以上の跳躍のある楽曲の即時的な音高の 把握を学び、保育者としての歌唱能力の基礎を丁寧に示した。そのうえで明るく肯定的な雰囲気の中で、自らの声を大切にし、お互いに認め合いながら聴き合う態 度を養った。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された			やや達成された	
		70、1点で再試験対象者は0.				
		きを持つ者は難なく乗り越えら いらの課題も見えてきた。予習				して、こうした音楽経験の が書かれているにもかかわ

の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

|らず手を付けらなかった学生も3割以上いたことが把握できている。授業評価では昨年度は「説明が理解しやすかったか」の問いに「全くそうでない」と「少しそうでな いと思う」を合わせると15%にも及んだが今期は少し減り8パーセントだった。今後の授業計画への課題として、来期は教科書を再検討することを考え、より理解しや すい進め方を構築しようとしている。

②ただし学生が互いに啓発しあい、意欲的に、歌いやすい調性に移調できる友人の伴奏を聴いたり、授業終了後に学び合う姿が見られた。

③前もってシラバスの記載を確認し、それに沿った学習計画を立てていた学生が21パーセントだったので毎回の授業のはじめに示す「ねらい」についは、もう少し丁 寧な説明が必要だったと考える。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

| DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当|①本科目は保育科の中の音楽関連科目の中でも「音楽の設計図」ともいえる楽譜と向かい合い、正確に読み取る力を養うことを目的にしている。DP「到達度自己評 価」を見ると「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」が90%を超えていて、ほとんどの学生が目標達成の気持ちを抱くので、内容的には妥 当であったと考える。しかしその中で、否定的な「全くそうだと思わない」という学生が一人いて、大変気になっている。音楽的な学習準備が整っていない段階で入学 してくる学生が増える傾向にあるので、限られた授業数で保育者としての音楽的基礎力を高める努力がさらに必要である。

> ②自由記述の中で具体的に自分で積極的に取り組んだ内容記述が27項目もあり、前向きに取り組んだ学生がいたことがことがうかがえた反面、「音楽が得意な人 向けの授業の気がした」という記述が1つ上がっていて、音楽経験の極端に少ない1名の声をすくいあげるには一斉講義の中での工夫の必要を感じた。「授業中に 学生が参加する機会がつくられていた」という項目の達成度が「まあまあそう思う」「わりにそう思う」「かなりそう思う」を合わせると94%と高く、授業の進め方としては 学生の今後の自己学習に期待が持てると考える。

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 〈授業評価の指標〉 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価の中で「学生の質問を受け付けそれに答える機会がつくられていた」の項目は3.5で質問にはできるだけ丁寧に答え、例を挙げて説明したり、実際の音で示したりしたが、次の課題に進むと同じつまずきをしてしまう学生もいた。添削して返却した課題をさらに本人がしっかり読み解くのを確認することが必要である。ノートを作らず配布物に書き込むために学習の積み重ねが定着しないこともあるのでこの点は配慮していきたい。「学習量の評価」で、授業の課題以外に学習に取り組まなかった理由に「時間がなかった」「忙しかった」というのが各々1名ずついたが、強く必要と感じれば必ず学習するのだから、これからも意識付けの努力を続けていきたい。、
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	保育科の音楽の基礎となる重要な科目である。その位置づけから「基礎的な楽典知識の理解」という点では概ね達成できた。しかし音楽的経験の極端に少ない学生とそうでない学生の開きが大きく、苦手意識を持つ学生が授業についていけないと感じないで意欲を持って、楽譜の読み取りの重要性を学び、保育における音楽を楽しめるようになるためには工夫の余地があると感じた。毎回の授業のねらいを周知させ、考える時間を十分に設けて、復習課題を充実させ、教科書を再検討することで年度に改善を行いたい。

学科	保育科
氏名	新内 和美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
家庭支援論	2	前期	選択	はい	90

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
談当にひ	×	×	0	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

選択科目であるが、保育士資格取得に必要な科目であり、家庭・子どもにかかわる専門職として必要な基礎科目である。受講動機として、必修科目であること、資格 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」、取得に必要であることが大半であるが、なぜこの科目が資格取得に必要な科目であるのかを理解させると共に、他科目との関連性も理解できるよう授業計画を作成 し、実施した。保育士として家庭支援を行っていくことは、子どもだけでなく、その家族を含めた様々な問題にかかわっていくので、現代社会における子育ての現状、 子育て支援の現状等を理解することが、家庭支援を理解する一助となるので、ニュース等に取り上げられる子育ての現状にアンテナを張るなど、現代の事象に関心 が持てるよう授業の準備を行った。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された			やや達成された	やや達成された	
	レポート等結果、学生到達					

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分

布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

のための知識・技能を習得する必要性を感じ取ったと考える。レボート等提出物については、科目の各単元の理解等目標を明確にしていたので、取り組み易かった と思われ、意欲関心(DP3)や技能表現(DP5)も含め、全体を通してやや達成されたと考える。図書館やインターネット利用についても、具体的に内容を提示したこと で、やや達成されたと考える。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当┃「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述意見等から、必修科目だから、資格取得のために必要だからという受講動機が大半である。子ども及びその家庭 性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

を支援することが保育士の重要な職務であり、保育士資格取得に必要 なことである等を理解させて、児童福祉や子どもの発達等関連科目との関連付けも理解させ ながら授業を行ったところである。更に、実際に行われている家庭支援事業について、自発的な興味を持って学習し発表するなどの設定が必要であると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について 授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡 家庭支援における知識の取得や理解等が授業の中心となっているせいか、学生にとって、受け身の授業となっていると感じる。今期は自発的な関心を更に深めるた 単にお示しください。 めに、事前に課題を与え、インターネットや図書館等で予習をして授業を受けるよう指導したが、更に発表するなどの時間を設定して、積極的な授業参加を促す必要 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しくださ があると考える。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン ターネット利用」学生の意見など 7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	試験、レポート等の結果や学生との会話から、パワーポイントや資料を使用した授業の進め方で、知識の取得や理解は一定の成果が出ていると考える。都市化、少子化、地域のつながりの希薄化という現代の子育て環境になかで、子育て家庭に対する家庭支援がいかに重要であるかを更に理解するために、インターネットや図書館を利用した予習学習や発表などと共に、子育て支援施策の実施状況や子育て支援の現状等、学生自身も体験しながら、自発的な授業参加等を進めていきたい。

学科	保育科
氏名	末嵜 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育原理	2	前期	必修	いいえ	91

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
該当にし	0	×	0	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

保育職に就く者として必要な知識や理論を学び、十分に理解した上で個々の学生が自身の保育論を形成できることを目標に、複雑な理論もできるだけ分かりやす く、身近に考えられるよう事例等を用いながら説明するように心がけた。また幼稚園教育要領や保育所保育指針が改定されたばかりのタイミングで、新しい情報も学 ぶ必要があったため、情報が混乱しないように気をつけながら授業を行った。板書スピード、しゃべる早さと明瞭さについても、その都度適切かどうか、確認しながら 授業を行った。

受講動機について、「必修であること」「資格取得に必要である」という理由であり、科目タイトルからも学生の取っつきにくいイメージはあったかと思われる。 担当初年度ということもあり、学生の理解度を測るために第5回の時点で無記名のアンケートを実施した。この時点では、概ね理解度に問題は無かった。また授業の 進度についても多くの学生が適切だと答えたが、一部の学生がついて行けない様子だったため少し進度を遅くするようにした。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない		やや達成されなかった		

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

再試対象者が17名、いずれも出席状況や受講態度が良くない者が対象となった。きちんと出席が出来た者は60点以上の成績を取っており、授業を受けていれば十 分に理解できたことを示している。そのためDP1知識理解は達成できたと考えるが、アンケートの回答からは決してそうではないような印象もある。試験では試験範 囲と問題をある程度ヒントとして出していたため、事前に模範解答が出回っていたのか、一緒に試験勉強を行ったのか、同じような解答が多く見られ、試験の方法を 大いに改善しなければならないと実感した。

意欲関心については、アンケートの回答より課題性が明確で無いこと、意欲を持つことができたに対して「全くそうでない」「少しそうでない」と答えた学生が17%いた ことを考慮すると、教育に対する興味の高まりや意欲関心を高めることは十分にできていないと判断できる。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 | CP、カリキュラムマップ上の位置づけにおける内容的妥当性について、保育者養成に関わる「専門科目」で「必修科目」である。前項で述べたように、2年生前期とい うことを鑑みて、この時期の自己課題として意識づけられれば、妥当であると考える。

DPと行動目標の内容的妥当性について、初年度ということもあり、十分に考慮できていなかった面がある。保育者の教育的側面を十分に考慮すればDP思考判断 やDP4態度も含んだ上で、授業方法や内容の改善に取り組みたい。

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡 単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・試験の方法については、大いに改善すべき点がある。自由記述で、試験の方法が直前に示されたことへの不満が複数出ていた。

・前任校では、2年後期に設定されていた科目で「これを理解しておかなければ現場で自分が困る」という意識付けが出来ていたが、今回は2年前期に設定されていたこともあって、この時期に応じた改善、学生自身が自己課題として意欲的に授業に取り組むことが出来るような改善が必要だと感じている。授業の中途で、自己評価を行い、授業への取り組みの姿勢や理解を自分自身に問い掛けるような工夫を試みたい。講義科目であり、演習とは違うため主体的な学びになりにくい科目ではあるが、学生が考えて伝え合う機会を持てるよう改善したいと思う。

・一方的な授業にならないよう、こちらから簡単な質問を投げかけたりクイズ形式にして問い掛けたり、気分転換のストレッチ・手遊び等も適宜取り入れた。理論系の科目であるが、できるだけ学生とコミュニケーションを取るような努力もしてきたが、一方で授業に向かう態度などには厳しさを求めた(居眠りしない、私語を慎む、飲食物を机に置かない、最初と最後に挨拶をする、スマホを触らない等)ためか、学生との距離があるままで授業が終わってしまった。信頼関係を深められるよう学生のニーズを受け止める努力を試みたい。

・板書型の授業方法で行ったが、紙資料やスライド資料なども適宜用いながら、筆記量への不満を減らす。

・今年度は担当初年度であったため、あれもこれもと内容を盛り込みすぎたことも反省点としてあげられる。次年度は、今年度別科目を教えた学生たちが上がってくるため、必要な知識のみを精選し、また学生への課題を明確にしたいと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

知識の理解について試験結果からは概ね達成できたようにも思えたが、試験の方法に問題があったことや学生のアンケート回答の状況から、本当に理解できていたかどうかを問い直す必要があると思われる。試験の方法や意欲を持って主体的に臨めるような工夫と改善が次年度への課題である。また初年度であったことから、内容を盛り込みすぎていたことも改善する。今年度の後期の授業を行う中で、次年度2年生に対しては段階的な学びが出来るよう工夫している最中である。この科目で取り扱った内容を、自分が受け持つ他の担当科目に盛り込んだり、他の担当者と情報共有し、精選していきたい。毎回の授業の区切りを明確にし、学生が自己課題を持って臨めるよう改善する。

学科	保育科
氏名	笠修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
児童家庭福祉	1	前期	必修	いいえ	97

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
該国にO	0	×	0	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

本科目の受講対象は1年生である。卒業必修科目であり、保育士資格取得のための必修科目でもあることから、全ての学生が受講している。本科目は、保育士とし 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」「て必要とされる福祉的視点や援助観を涵養する上で基礎となる科目の一つである。昨年度は、この点に関して学生への意識づけが十分ではなかったことから、今年 度は科目の位置づけや意義について視覚資料を用いて説明を行った。

授業では、学生の復習への意識を高めるとともに、学習状況を確認することを目的として、計8回の小テストを実施 した。また、リアクションペーパーを活用し、学生の疑問や意見に対応できる取り組みを行った。自由記述に「小テストが行われて、毎回自然と復習ができてよかっ た」との意見があり、小テストの実施は学生準備性を高める上で一定の効果があると考える。今後も継続して取り組んでいきたい。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な評価としてS-38	名、A-19名、B-20名、C-2	3名、D-0名であり、S、A評	価を取得した学生が全体の	約60%であることから、目標	似なや達成されたと考え
	る。また再試対象者は8名で方、学生による授業評価の		の自己評価」では、すべて	の項目において93%以上 <i>0</i>)学生が「まあまあそうだと!	他 思う」以上の評価がなされて

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられるもので、福祉系科目の基礎となる科目である。保育士資格取得のための必修 科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。

DPに関して、「学習達成度の自己評価」における知識理解、意欲関心を示す項目で、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をし 以上のことか

ら、内容的妥当性は問題ないと考える

ている。

	授業では、可能な限り学生が発言できる機会を設けることで、学生が主体的に考え取り組むことができるよう配慮している。また、単元ごとに作成、配布した予習プリントを基に学籍番号順での質問やクイズ形式での質問等を行うことで、すべての学生が発言できるよう工夫している。 今年度は授業準備性を高めることを目的に、小テストの実施、予習プリントの配布を行った。「授業の質の評価」では、全ての項目の平均値が4.1~4.2点であり、授業改善に向けた取り組みに一定の評価を得ることができたのではないかと考える。
< 授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	

7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。 今年度は、昨年度に比べ「達成度自己評価」「授業の質評価」において平均値の上昇がみられ、小テストの導入や不特定多数の学生が発言できる場の提供 等の授業改善に向けた取り組みの効果ではないかと考える。今後もさらなる改善をめざし、学生のニーズを踏まえた授業改善に取り組んでいきたい。また、カリキュ ラムマップ上の位置づけからも、本科目で得た学びを学生自身が他の科目と関連付けることができよう、引き続き意識的な取り組みを行っていきたい。

学科	保育科
氏名	笠修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会的養護	2	前期	選択	いいえ	90

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
政コにし	0	×	0	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標>

に対する意欲の向上、学習状況の把握に努めた。

また、授業の進行状況に応じて適宜小テストを行い、復習 他方、自由記述から学生の受講態度に関する課題が示唆さ

「学修準備性」、自由記述の意見など

れたため、授業環境への改善に向けた取り組みを行っていきたい。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な評価としてS-27	/名、A-34名、B-12名、C-1	6名、であり、S、A評価を取 ^っ	得したものは名で全体の約6	67%であることから、目標は	やや達成されたと考える。

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

|再試験対象者は5名であった。 学生による授業評価

本科目は保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業の実施にあたっては、社会的養護の担い手であ

る保育士に求められる知識の獲得を目指すとともに、適宜、具体的な事例を用いることで、現場実践に引き付けて学びを得ることができるよう心掛けた。

をみると、「学習達成度の自己評価」では、すべての項目で97%以上の学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。

以上のことから、目標はやや達成されたと考える。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられている。資格取得のための必修科目であることを学生も理 性の評価を記入してください。 解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DPでは、学生による授業評価の知識理解の観点、意欲関心の観点での自己評価について、97%以上が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。

上のことから、内容的妥当性は問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について 環準の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 大学業界価の指標> 「授業の質の評価」「学階のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など 7. 総括的評価と来年度に向けての課題 達成状況の総括的評価と課題をお示しください。 学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。 次年度も引き続き授業の質的向上に向けた取り組みを行きたい。また、今年度見えてきた授業環境に関するについて着実に改善を図っていきたい。

学科	保育科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
心理学 I	1	前期	選択	はい	34

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
政コにし	0	×	×	×	×

3. 授業準備について

技耒の夫地にめにり入功にしていること、 里点をおいにことをこ	に入ください。
開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたか	を、「受講動機
なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を	立てた場合は.
これをどう具体化したかを併せてご記入ください。	
/ 哲学評価の指揮>	

「学修準備性」、自由記述の意見など

保育にかかわるテレビや新聞報道を見るにつけ現代社会はストレス社会であると感じる。心理学の分野に期待が高まっている。本講義では基本となる心理学一般 |の基礎知識や教養的知見の修得を目指しながら、専門性のある生涯発達心理学の視点から授業を組み立てている。それは今を生きる学生に最も必要な「生き方の| 模索」に関わる問題だからである。昨年度の大きな課題は講義中の集中力をいかに途切れないようにキープさせるかという点であった。このため講義途中で「映像」 を多く取り入れた。自由記述などを読むと概ね成功したと理解できる。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	昨年度に引き続き、全体を	通して達成されたという根拠	は「定期試験の結果」である	る。優れた及び良しの合格点	を取った学生はほぼ100パ	ーセントに達した。定期試

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

験は記述式がその中心であるが、記載の内容も的を得たものでありしっかり書かれており理解の進んだものであった。また学生の授業評価アンケートの記述にも 「ためになった」「分かりやすかった」「面白かった」などが多数あり知識理解と意欲関心について一定の水準を保ったことが伺えると思った。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当|昨年度と同様に、毎回の授業について、ミニ感想や質問を自主的に書いて提出するように求めている。この効果は大きく好評のようである。自由記述を見ると、これ 性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

に関する「質問の回答の時間が一番良かった」「心理学だけでなく先生の人生の話が面白かった 1等の記述もあり、本科目の目標である「ストレスの多い現代社会を 生き抜く健康な心構えを形成する」というねらいが達成されたと評価できる。

6. 侵業の進め方とその向上について 接業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡 単にお示したださい。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 く授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学習の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など 7. 総括的評価と来年度に向けての課題 達成状況の総括的評価と課題をお示しください。 講義シラバスで年度当初の学生に期待した行動目標は概ね達成出来たと思う。しかしまだ授業中に集中力が途絶え、睡眠モードに切り替わる学生が幾人か存在する。注意の仕方に工夫をくわえたい。睡眠学習者のを達成するのは容易ではない。今年度取り組んだ映像や教師の発問、計議話題の挿入などまだ工夫の余地を継続して続けたい。がんばりたいと思う。

学科	保育科
氏名	清末 達人

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生理学	1	前期	選択	いいえ	64

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
_{EX} ∃ICO	0	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体にしたかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

この科目は、細胞の機能から始まって、生命体維持の基本となる主要臓器の働きについて学ぶ学問であるが、最初に対人関係の基礎となる人間の思考に焦点をあてて、神経系の働きについて高校までの知識を基礎におきながら学習を進めた。特に、対象を認識するための感覚器の働き、中枢での情報の統合、運動神経による骨格筋の制御の仕組みなどに重点をおいた授業計画を立案し、日常生活における神経系や筋肉系についての基本的な事柄について理解が深まるように配慮した。また、毎回の学習項目に関連深いビデオ映像を鑑賞することで、生理学に関する興味を持ってもらえるように努めるなど、学生の興味が途切れないように配慮した。

今年度から、保育科単独の教科となり保育科に特化した授業となるように努力したつもりであるが、昨年度までの主に生活創造学科向けに行っていた一般教養としての生理学という授業形態を一新するまでには至らなかったと反省している。次の機会には、さらに保育科の学生にとって必要な生理学とは?という命題を突き詰めていく必要を大いに感じている。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

授業評価アンケートにおいて、「自分なりの目標を達成したか」という問いに対して、約8割が「まあまあそうだと思う」以上の肯定的な回答を行っている。また、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができたか」、という問いに対しても9割程度が肯定的に回答しており、この科目で意図した教育目標は、かなりの程度達成できたのではないかと考えられる。1割から2割の学生にとって、教育内容が必ずしも期待にそうものではなかったことについては、申し訳なく感じている。

今年度は、DVDを鑑賞して感想文を提出してもらい、成績評価を行ったが、ほとんどの学生はDVDのテーマに大いに興味を持ち、真面目に感想文に取り組んだことがうかがわれた。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

は 授業動機で一番多かったのは、卒業に必要な単位数の確保であり、試験を実施しない科目であるから受講したという面が大きかったのかなと感じている。保育科 において生理学を学ぶ動機としては、医学の初歩を理解して病気と健康についての基本的な考え方を身に着けるというものであってほしいという教える立場からの 「希望と、必ずしもそぐわなかったのではと反省している。

自分が学ぼうとしている専門分野について学ぼうとする意欲と高めるような授業ではないかったという評価結果は重く受け止めたい。また機会があれば、「脳科学の面からみた幼児期の精神と行動の発達」というテーマにもっと絞った内容をさらに多く取り入れるつもりである。

6. 授業の進め方とその向上について 授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しださい。 事に、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 〈授業評価の指標〉 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など 7. 総括的評価と来年度に向けての課題 遠成状況の総括的評価と課題をお示しください。 「限られた授業時間内に、人体のすべての臓器についての基本的事項を講義することは不可能であり、学生が興味を持っていると思われる事柄をなるべく取り上げ

7. 総括的評価と来年度に向けての課題	·
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	限られた授業時間内に、人体のすべての臓器についての基本的事項を講義することは不可能であり、学生が興味を持っていると思われる事柄をなるべく取り上げるように努めたが、すべての内容が、必ずしも受講生にとって興味を引く事柄ではなかったかも知れない。自分の専門分野の課題とあまり関係がないと評価している学生が約2割いるのは残念な点である。もしこの科目を将来担当する機会があれば、保育科学生のニーズをできるだけ汲み取った授業内容にしたいと考えている。

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助	2	前期	選択	いいえ	91

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
nA∃ICU	×	0	0	0	×

3. 授業準備について

なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標>

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ぐださい。 本科目は保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業では、保育士に求められる相談振助の基本的知 関講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 識と技術の獲得を目指すと同時に、保育場面における具体的な事例を用いた個人ワークやグループディスカッションを多く取り入れ、授業での学びをできる限り実践 と関連付けて考えることができるよう工夫した。

4. 学生の目標達成状況について

「学修準備性」、自由記述の意見など

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な成績評価としてS-	-12名、A-33名、B-32名	、C-13名であり、S、A評価	を取得した学生が全体の約	50%である。また、再試験対	
* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。	2分 と、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」の全ての項目に対して、97%以上が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。					方、学生による評価をみる
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 本科目は保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の本質・目的に関する科目」における福祉系の基本科目の一つとして位置付けられている。 DPでは、思 性の評価を記入してください。 考判断の観点、意欲関心の観点、技能表現の観点での自己評価について、97%以上が「、まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。 以上のことから、内容的妥当性は問題ないと思われる。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。	授業は、相談援助活動の実践的理解を促すことを目的として、講義から演習へという流れを意識して展開した。また、適宜レポート提出を求め、学習状況を確認し、 必要があれば時間を設けて解説を加えるなど学生の理解促進に配慮した。 今年度は、学修準備性を高めるため、継続して実施している小テストに加え、予習プリントの活用を行ったが、授業評価の結果を踏まえるとさ らなる工夫が必要と考える。
<授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	

7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。 今年度は、学修準備性を高めることを念頭に改善策を講じたが、それが有効かどうかを確認することができなかった。次年度は、有効性を確認するための質問紙調査等を実施するとともに、学生ニーズを踏まえた改善策を検討していきたい。 また、演習科目という特性を生かし、学生ができるだけ体験的に学ぶことができるよう、引き続き教材の修正や改善を図っていきたいと考える。

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本語表現法	2	前期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
nX∃ICU	×	×	×	0	×

3. 授業準備について

技耒の夫肔にめにり入りにしていること。	,里只をあいたことをこ記入くたさい。
開講時の学生の学習準備性を示し, 授業	業計画にどう活かしたかを、「受講動機
なども参考にして記述してください。昨年	度に授業の改善計画を立てた場合は
これをどう具体化したかを併せてご記入く	ください。
/ 埓業証価の指揮へ	

「学修準備性」、自由記述の意見など

保育科における日本語表現法の主眼は、学生たちが、実習日誌をいかにうまく表現できるのか、ということである。もちろんこれのみに力を入れているわけではないが、バランスのとれた人間教育は、つまるところバランスの採れた表現が如何にできるか、にかかっていることは衆知の事実である。すべてが連関しているという認識を、まず学生が自覚する事、教師もそれを自覚しながら教育にあたらなければならない。そういったことを根底に於いて講義を進め、シラバス通りに、、く読む・書く・聴く・話す>を単元別に問題に応える方法で講義を進めている。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された				やや達成された	
	おぼつかない単元もあるが ているようである。	、、トータルしてみた場合、78	%あたりまで伸びていると思	見われる。当初は学生に学び	がの迷いがあったが、着実に	理解度と解釈度が進展し

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 本科目の位置づけから見た内容的妥当性については、80%は活かされていると思われる。まずまずの達成の域に入っていると思われる。 性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」,自由記述の意見など

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 〈授業評価の指標〉 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	改善策としては、次回は、ややプレゼンを、増やした方が良いのかもしれないという事。しかしこれは、もう少し検討する必要がある。やみくもにすればよいというわけでもなく、まずは、受講生の、弱点を、マンツーマン体制で教示することの方が先決であるかも知れないので。…という課題が残っている。いずれ、結論を出して実践してゆくつもりである。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	根気よく学生が学ぶために、たくさんの事例を用意するつもりである。達成状況の総括的評価は良いと考えている。

学科	保育科
氏名	北野 久美
1. 基本情報	

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	91
2. 観点・DP上の位置					

思考判断(DP2)

0

知識理解(DP1)

×

3. 授業準備について

受業の実施にあたり大切にしていること,重点をおいたことをご記入ください。
開講時の学生の学習準備性を示し. 授業計画にどう活かしたかを. 「受講動機
なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は
これをどう具体化したかを併せてご記入ください。
<授業評価の指標>
学修準備性」、自由記述の意見など

該当に〇

|重点を置いたこと: 外部講師であること、現場を持っている事を強みと考え、現場での実際を理解してもらうべく、子どもの姿や保育士の姿を録画し、それらを基 | に検討材料とする。また実際に作成し使用している手作りおもちゃ等を創る事で、現場に出てからの乖離が無いよう配慮し、手作りおもちゃ作成も授業の中で実施。

態度(DP4)

0

技能表現(DP5)

×

意欲関心(DP3)

×

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された		やや達成された		やや達成された	
. 担棚 1. 元 子碑 /			がらも、その解説を実態に基 る内容だけに、基礎的事項(
情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。	はじめの指定がすでに、DP2-1であるので、妥当性の評価はここでは述べることが出来ない。
< 授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」,自由記述の意見など	

6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。	講義室の形状からPC環境が整っていないため、パワーポイントを駆使できない。しかし、テキスト中心に解説を加えた進め方に加え、ビデオを視聴することで考える きっかけづくり、追体験、を行うことはできた。乳児保育はネットや資料の活用より、以下に乳児の特性を把握した上での対応ができるかどうかにかかっているので、 むしろRPや事例に基づいた検討が有益であるととらえている。
<授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	総括:乳児保育の基本は乳児の成長発達を理解するにとどまらず、その場での即戦力となる応答的な対応や、寄り添うことが出来、温かみのある環境となれるかどうかであることから、現場の実例、実際を体感できるような授業の展開にしてきたが、今後もそのスタンスで、実例をあげつつの理解促進を図りたい。また、対応のスキルを身に付けるための演習は多く取り入れていきたいと考える

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
文学 I	1	前期	選択	はい	86

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
BA∃ICU	0	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大	切にしていること,	重点をおいたこと	をこ記入くた	さい。
開講時の学生の学習	隼備性を示し, 授業	ミ計画にどう活かし	たかを、「受	講動機
なども参考にして記述	してください。昨年	度に授業の改善計	†画を立てた:	場合は,
これをどう具体化したが	かを併せてご記入く	ください。		
~☆ 朱 雲 圧 み 北 無 へ				

【<授業評価の指標> 「学修準備性」,自由記述の意見など | 今、なぜ文学なのか、という問題定義を皮切りに、文学とは何か、という事の答え、そして文学を学ばなければいけない理由と目的をまず理解させ、上質な文学作 | 品、ベストセラー小説の意義を考えることから始めている。学生自身は、自身に近い事柄ほど関心を抱くので、身近な問題から入っていくことを心掛けるようにしてい | る。こういった文学的考察は、どちらかと言えば、社会学的考察で、人の心、背景、時代、歴史観、言葉、表現といったすべてのことを含むので、おのずと興味が湧く | ようである。本格的考察までの序段階としての工夫である。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

昨年に引き続き、学生の反応にムラが見受けられる。得手不得手が如実に出るので、この様な結果になると思われる。ただ、一つ非常に良かった点は、図書館で調 べる積極性が生まれたように感じている。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 本科目の位置づけから見た内容的妥当性については、75%は活かされていると思われる。生きてゆくことの諸問題を採りあげているので、学生自身の言葉で表現で 性の評価を記入してください。 きる実力が付けば、全てに関して学生がグレードアップしてゆくものと思われる。今後に期待したいと考えている。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」,自由記述の意見など

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 〈授業評価の指標〉 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	特に一部の学生が、良い意味で非常に活発で、意欲的に授業参加するので、周りの学生に勉学効果がでてきている。これは、ありがたい現象ととらえている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	達成状況の総括的評価としては、今年度は80%である。雰囲気としては昨年より向上しているようである。

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育の心理学 I	1	前期	必修	いいえ	98

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
_{EX} ∃ICO	0	0	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

本科目もは、今年度より開講される科目であるが、資格取得に必要な科目を学生も理解しているため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生は 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを「受講動機」全員受講している。受講学生は乳幼児についての基礎的知識や体験が少なく対象に対するイメージが難しいのではないかと考え、スライドには写真を用い視覚的に 理解を促す、幼少期に関して自身の記憶を想起できるような働きかけを行うなど配慮した。配布資料は集約し、適宜書き取りを行う事によって授業に集中できるよう にしている。

> 講義を進めるにあたっては、なるべく教師からの一方的な教授になることの無いよう、事例や学生同士のディスカッションを取り入れ、これまでの経験を振り返るこ とができるような内容を取り入れた。また、講義を主体的に受講することを意識づけるために、評価に授業ノートの提出を取り入れている。これにより、講義であって も重要箇所を聴き取る力を身につけられるよう意識している。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な評価は79.6占(最高占100占 最低占52占	A-10人 B-37人 C-41人	D-5人 F-4人)である。 本利	目は 2クラスに分かれて名	っているが 各クラスの得

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

点の平均差は2点(78.6、80.7)であり、A,B,C,D評価の内訳もほぼ変わりない。つまり、両クラスも偏ることなくほぼ同じくらいの理解度であるといえる。昨年度と比較 すると全体的な平均点は2点高くなっている。しかしながら、B評価とC評価の人数が逆転していること、E評価がいることから、学生による理解の差がみられる。また. 「到達度自己評価」、「授業の質評価」ではい概ね「まあまあそうだと思う」以上であるが、「少しそうではないと思う」以下と判断している学生が3名以下ではあるがい ることが課題である。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、卒業必修科目であると同時に、「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭免許所(必修)、保育士資 格(必修)の科目である。受講生は、いずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。

DPに関しては、試験解答状況を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成できていると考えられる。

以上の事より、内容的妥当性には問題ないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 〈授業評価の指標〉 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業時の発言は学生にとって勇気が必要であり、発言する学生としない学生に偏りが見られる。そのため、発言を促す際は、なるべく数人での意見の出し合いをする機会を設け、発言することへの意欲が高められるように配慮した。自宅での学習においては、「何をしたらよいかわからない」ため、復習していないと回答している学生がいるため、次回より振り返りのポイントを示すことができるようにしたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	全体的には学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。しかしながら、講義の中での要点をつかみ取りにくいとの指摘もあるため、学習内容量にも配慮していきたい。

学科	保育科
氏名	淵 和子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育者論	1	前期	必修	いいえ	97

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
談当にひ	0	×	×	×	0

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など

①1年生全員がイメージしやすい教科の一つであると考えたので、資格や免許状の取得にモチベーションが上がるよう配慮して授業したつもりである。それには、具 体的な実践の場における保育者の姿や、目標となるような保育者の姿について興味関心が持て、何を目標として学んで行けば良いかを講義してきた。②学生の学 習準備は、前回の授業の振り返りとともに意識を持たせて授業に臨ませ、最後に本日学んだこと、感想、質問等記載させレポートを提出して学習状況を確認するよう にした。③保育科を志望して授業を受けているのにも関わらず、幼稚園や保育園のイメージがつきにくく、乳幼児と遊んだり世話をした経験の無い学生もいたので、 |写真やDVD映像で解説しながら保育者と子どもの関わりを伝えていった。④「保育者は責任が重い仕事だけど子どもの成長がきっと喜びになる」等徐々に授業内容 が身近なものとして定着していったと考える。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
		0パーセント、授業態度20/				
		2時限目でまだ眠いのか寝 た。レポートについては、毎回			≃生もいた。わらべ歌や絵本	なとを間で入れて、集中時

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 |CPマップ、カリキュラムマップ上の動機付けからみた内容の妥当性、本科目は①他者を尊重し、他者への奉仕の精神を持ち、他者と協力して活動できるコミュニケー ション能力と責任感、倫理観を備えていると同時に、広く社会の発展に寄与し、地域社会に貢献する力を有している。②乳幼児の養護・教育とその支援における専 門性と実践能力を有している。③自己研鑽と創意工夫に励む姿勢、並びに柔軟な視点で養護・教育に関わる今日的諸課題を探求・解決するための基礎が培われ ていると考える。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考える。DPマップから④ 興味・関心: 保育者としての資質向上へ意欲を持ち、 保育ニーズの変化に対応できる。

- ⑤ 態度: 利用者に対してだけではなく、地域の子育て支援者としての責任を持った行動を取ることができる
- ⑥ 技能・表現: チームワークを大切にし、周囲と良好なコミュニケーションをとることができる 以上成績から鑑みても妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について 授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡 単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 と授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学習の評価」「学習の評価」「学習の評価」「学習の評価」「学習の言見など

7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	保育者の仕事や専門性、保育における心持や子どもとの関わり方などは、概ね伝えられたと思うが、これから実習や技能試験などで、自信を失い退学をしたり、保育者になる夢を捨ててしまう学生が増えぬよう、保育者なった時の喜びや誇りなども伝えていければ、躓いた時に支えとなると思われるので、時期の教員に引き継いでもらいたいところである。5~6回授業の中で他者の意見にも触れ話し合う時間を持った。課題に向かって考えることが苦手と言っていた学生が、「こういう考えもあるのだ」と人の意見を聞いて考えるきっかけになっていたとのこと、ワークは今の学生のスタイルに合っていたように考える。

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「健康」	1	前期	選択	いいえ	97

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
該当にし	0	×	×	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

本科目は、保育士資格及び幼稚園教諭2種免許取得のための必修科目であり、受講生の「受講動機」では「必修科目である」もしくは「資格取得に必要である」と回 答があるため、受講生との認識にはずれがないと考えています。他の回答として「関心のある内容である」と7%の学生が回答しており、必修科目であるから受講す る、といった意識以上のものを感じました。その前向きな姿勢は、「シラバスの活用」のアンケート結果にも表れているように思います。この授業を履修する際にシラ バスの記載を参考にした」という設問に対し、「参考にした」と回答した受講生は95名中75名もいました。また、予習復習時間の確保も、私が課した以上の回数をして いることがアンケートから読み取れ、自己学習をしっかりとして受講してくれたことが分かりました。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は,該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された			達成された	

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

今年度は、再試験の対象者が実質ゼロでした。また、本科目は、演習科目であるため、活動に対する評価に重点が置かれていたため、毎回の演習に対する取り組 む姿勢が自ずと積極的かつ真剣であったと感じました。演習を進める中で、受講生一人ひとりにアドバイスができるように努めたが、どうしても不器用な学生や質問 を積極的にしてくる学生に時間を費やしてしまい、一人で黙々と作業をする学生へは短い時間しか接することができなかったことは反省点です。また、小テストで知 識が得られたかを測りましたが、毎年、小テストはすぐに採点して返却をしていましたが今年度は私の不注意で返却することができず、第2回目の小テストを実施して しまいました。第1回目の小テストは、終了後解説はしたものの、受講生にとっては手元に残すことによってより勉強が進んだ、と考えると申し訳ないことをしたと反省 しています。この件については、アンケートの自由記載にも1名記述されており、次年度は、このようなことがないように早めの返却を心がけたいと思っています。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

	妥当だと思います。特に科目の連動性としては、受講生自身も感じながら学習を進めてくれました。「DP」については、到達度自己評価の該当する項目は、概ね平均
性の評価を記入してください。	
	もがΛ∩に上を示しており、平当性を重付けられると解釈しています。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 〈授業評価の指標〉 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「授業の質評価」は、平均値が4.3以上を示しており、概ね理解できる内容で進めることができているのかな、と感じています。できる限り、具体的な子どもの姿を私自身が臨床でかかわってきた子ども達とのエピソードを加え、説明をするように努めました。また、演習課題は、例示を複数示し、選択かつ発展的に考えれるように仕向けていきました。その結果、想像を超える発想力で課題に取り組むことができていました。この時期は、まだ附属幼稚園の見学実習に行くか行かないかの時期であり、未満児に至っては、まだ接したことがない時期のため、なかなかイメージがつきにくいと毎年本科目を進めるにあたり感じていることです。そのため、今年度は、具体的に見せること、やってみること、で理解や関心が深まったため、今後もできる限り、具体的に見える形で示していきたいと思っています。

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	1年前期という時期に、子どもの生活習慣の発達とその獲得に関わる内容を教授する難しさを感じます。しかし、受講生達は、イメージを膨らませ、子ども達の生活
	様子を理解しようと懸命になってくれている姿を、受講態度や今回のアンケート結果のうち、調べ学習に関連する諸設問の回答に読み取ることができました。自由
	載の中で「これからの学修に必要なことを多く学べたので良かったです。他の授業につなげていきたいです」と記述されていました。本科目が他科目と連動しているとを自ら感じ取ってくれた証だと思っています。次年度もより具体性にあふれた内容で授業を進めていき、受講生の達成度の向上に努めたいと思っています。また
	とを自ら恋し取りていた証だと思うています。グ午度もより美術性にめぶれた内谷で技業を進めている、文誦主の達成度の同土に劣めたいとぶりています。また 次年度は、今年度の最大の反省点である、小テストの返却の徹底をしていきます。
	X Z X X X X X X X X

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「表現(身体·音楽表現)」	2	前期	選択	いいえ	91

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
oX∃ICO	0	×	×	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること,重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

①81.5%の学生の 受講動機が「必修科目である」ためで、「関心のある科目である」2. 5%と関心のある学生が極端に少ないことに、身体・音楽表現というこの科目 の学生の認識の低さに危惧を覚えた。しかし実際に授業を開始してみると後期の保育総合表現と密接に関係していることや、すでに多くの学生が現場の保育実習を 経験していることもあり、非常に積極的で協働的に取り組む好ましい傾向がみられた。

②子どもの発達段階に即した豊かな感性をはぐくむ表現遊びの重要性を認識し、音楽に関する知識・技能を学びながら教師自身も楽しむことのできる音楽表現遊び を実体験することを主眼にした。「身体表現」「手遊び「」身近な楽器を活用した合奏と身体表現との融合」など幅広い活動を多くの楽曲を用いて行った。DP到達度自 己評価が3.7~3.9で、「コミュニケーションや表現力を高めることができた」「学びを深めたいと意欲を持つことができた」「専門分野で必要となる技術を身につけ た」の評価では「少しそうでないと思う」「全くそうではないと思う」といったマイナスの評価がOであったのでよかったと思う。現場に役立つ大切な技能を身に着けること ができたと思う。

③講義の最後で行ったグループ発表は、和やかな華やいだ雰囲気の中で、励まし合い、お互いの良い点を認め合う協力的な空気感が感じられた。またその週は現 役高校生の授業参観もありさらに後輩への発表の場という特別な高揚感があったと思う。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された			達成された	
	①身体・音楽表現の実例を					
* 担拠して、成绩(トークルの成績、行動日標もるいけDD別)の変物値や分	到達度自己評価では「少し	そうではないではないと思う	」という学生が2人いて、グノ	レープ発表、個人発表で自然	分で満足のいく十分な表現に	こ至らなかったことが推察で

ド根拠として,成績(トータルの成績,行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

きる。話し合い活動で自分の意見が必ずしも通らない中でも、最終的には協力し合って満足できる発表を後期の総合表現で体験してほしいと思う。 ②「学生の質問に答える」では授業の内容を極力プリントでも説明を加え、質問に答えようとしたが、7%の学生がそういう機会が不十分だったと評価している点は今 後の反省である。知識の蓄積に問題がなかったかという課題も含めて、授業の終わりの質問の時間を確保することを考えなくてはいけない。 ③図書、インターネットの利用が8%と低いのは啓発の不足であり今後の課題である。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

| DP. CP. カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当 |(1)DP学生の行動目標からみた内容の妥当性 性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の行動目標のひとつである「表現をより豊かにするための即興演奏の基礎を学ぶ」ことに十分な時間が取れず、説明と手法の実演に終わってしまい次年度の 課題であるが、到達度自己評価の「専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」は「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」で69%「まあまあそ |う思う」を加えると95%になるので、今後に学習が深まり、知識技能が伴って豊かな音楽表現を目指す保育者の基礎を身につけることができた。内容的には妥当で あったと考える。

②自由記述から「音楽の重要性を実感した」「楽しかった」「印象的なリズムがあって楽しかった」など好意的な記述がある反面、もう一歩進んで「子どもの表現遊びを 引き出す保育者になる」ための深い学びを今後進めていきたいと考えた。しかし全体としては「説明も理解されやい」は「わりに」まあまあ」「かなり」の合計が91%、 「課題も明らかであった」95%となっているので、内容的には妥当であったと考える。

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 〈授業評価の指標〉 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめ、話し合う、発表し合うなどなど、学生が参加する機会がつくられていた」の平均が3.5であった。どうしても表現するときに緊張してしまう学生も、回を重ねるごとに他の人の発表などを参考にしながら自分の表現を充実させていけたとは思うが、まだ十分だったとはいえない。またこの授業を通して自分の適性に向かいられ、、保育現場の日常はし、個人であるいは集団で音楽を使って表現する楽しさを味わい、保育現場の日常の音楽遊びを考えるきっかけを提示した。レポートを通してこうしたことが保育現場の日常に生かせるか、知識の定着を確認することをしたが、提出の滞る学生もいて、文章や絵を持って表現を記録するむつかしさを感じた。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業課程を振り返ると、具体的な楽曲を用いて身体・音楽表現を体験し、保育現場でに設定するという本科目の目標は概ね達成できたが、個々の事例に十分な検討を加え発展させるための学生どうしの検討し合う時間を十分には設けることができなかった。一つひとつの課題を丁寧に検証していくことも考えたい。また、インターネットの検索による情報収集において、本当に価値ある情報とそうでないものを見極める力をつけ利用することが大切でる。責任のない個人が安易にアップした演奏や演技を模倣してしまわない、しっかりした学習を身につけさせるために、図書館の利用を推奨したい。

学科	保育科
氏名	村上 里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容総論	1	前期	必修	いいえ	97

2. 観点・DP上の位置

該当に〇	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
DA SICO	0	×	×	0	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。

<授業評価の指標>

「学修準備性」、自由記述の意見など

①保育教育実習を臨んでいない1年生にとっては、保育内容や資格取得についてイメージしたり、実感したりすることがかなり難しいと思われる。その為、保育現場を イメージして「保育内容」を学べるように、子どもの姿やそこにかかわる保育者の役割について出来る限り具体的に、また実際の事例に基づいて理論の展開をするよ うな準備を心がけた。

②2017年度「保育内総論」の受講動機を見ると、「必須科目である」が91.3%、「資格取得に必要である」が32.6%である。「関心のある内容である」が、5.4%で少ない ことも推測出来た為、「保育」を職業とすることを目指す学生達が、保育の基盤である「保育内容総論」が大切な科目であり、学ぶ意欲をもって受講することが出来る ように、保育のエピソードや関わりのポイントを授業に盛り込むようにした。

③昨年度に使用したテキストでは、「保育の五領域」と「保育内容」との関係性が理解し難かったこと、全体的に具体的事例でのイメージがし難かったことから、教材 を修正することにした。今回、これについてシラバスを一部修正し、新たな教材としてのテキストを選定した。

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれか を選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。		は、92.3点であった。試験 が、授業貢献度で減点せざ				価できると思われる。しか

* 根拠として,成績(トータルの成績, 行動目標あるいはDP別)の平均値や分 布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生 の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しくださ

<授業評価の指標>

「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための 情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

②学生の到達度自己評価では、3.8~4.0点とどの項目においても、ある程度の目標に達していると考えられる。しかし、「職業倫理や行動規範(守るべきルールなど) について学ぶことができた」の項目についてと「職業選択の参考になった」の項目について、それぞれに「全くそうでない思う」が1名ずつおり、これらの項目について は来年度の課題としたい。

③学習量の評価について、「授業参加における1回30分以上の準備をどのくらい行いましたか?」の項目に0回が51%。また「授業の振り返りのための1回30分以上 の復習」については0回が56%と、予習や復習の学習量が不充分である学生が半数を超えることがわかった。しかし、自己学習に取り組んだ学生は、「次の範囲の 教科書を読んだ。」「ノートにまとめた。」等と工夫していることも感じ取れる。

また、自由記述で課題学習以外に学習に取り組んでいない理由「しなくて良いと思った。」「何をすればよいか分からなかった。」を答えた学生と、「分からないところ は授業中で解決させたため。」「授業で十分と思ったから。」と答えた学生が存在することを踏まえて、来年度の授業形態の課題としたい。

④図書館の利用についても、利用していない学生が93%であることから、授業の一環として図書館を積極的に利用する機会を作るようにしたい。

5. DP. CP. カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP.CP.カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当|本科目は、「専門教育科目」における「保育の内容・方法に関する科目」に位置づけられており、保育士資格、幼稚園教諭免許取得の必須科目である。受講生は、い ずれも免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講動機は高いと思われる。テキストに沿って授業を進めたが、保育実践での子どもの姿や保育者の援 助など具体的事例を入れたり、子どもの背景にある家庭や状況、保育者の社会的役割や「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」の改訂についてなども交えて授業を することで、受講意欲も徐々に高くなってきたと思われる。ゆえに、内容的妥当性には問題はないと考える。

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 〈授業評価の指標〉 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	1年生前期の授業でもあり、保育を学ぶ入口で大切な授業であることを踏まえ、更に授業の工夫をしていきたい。今後「保育内容総論」が分化して、保育内容の「環境」「健康」「人間関係」「言葉」「表現」の5つの領域で保育を考えていくという営みを理解して、資格を取得し、保育現場に出て欲しいという願いが伝わる授業にしていきたい。また、学生の「事例をたくさん教えて頂き、分かりやすかった。」「実際の現場について沢山お話しして下さり、とても知識として身に付きました。」という意見も参考に、来年度も事例や実際の現場の話題をたくさん用いて、理論展開した授業をしていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	

権成状況の総括的評価と課題をお示しください。	保育者としての「職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)」や「職業選択の参考」についても学んでいけるような内容も考えたい。また、自ら予習復習をする学生
EXが次のから日本日本国に外域でのからくだっ。	
	と学習量が不充分である学生が存在することがわかったので、授業内容の理解と合わせて、主体的に自己学習に取り組もうとする姿勢に刺激する授業の工夫に
	力したい。その一環として図書館を利用する機会も作るようにしたい。